

# すぎな園だより



えん  
すぎな園

れいわ ねん がつ にちはっこう だい ごう  
令和5年3月1日発行 第190号

まつやましきたよしだちよう  
松山市北吉田町77-88

TEL 974-8310 FAX 974-8340

メールアドレス suginaen.0704@song.ocn.ne.jp

## 春と言えば・・・??

さんかんしおん く かえ はる ちかつ さいわ ひ つづ たいちようかんり  
三寒四温を繰り返しながら春が近付いてきましたが、まだまだ寒い日が続くので体調管理にはくれぐれも  
き つつ みな とき はる ちかつ き かん こんかい はるつけ  
気を付けてください。さて、皆さんはどんな時に春が近付いて来たと感じますか？今回は「春告〇〇」という  
いみよう も しようかい  
異名を持つものをいくつか紹介させていただきます。

はるつけどり あたは はる ちかつ く さとやま ひび ほーほけきよ な ごえ  
まずは春告鳥です。暖かくなって春が近付いて来ると山里に響く「ホーホケキョ」という鳴き声。そう  
はるつけどり うぐいす いみよう うぐいす ねん とお ほーほけきよ な かた  
で、春告鳥とは鶯の異名です。鶯は1年を通して「ホーホケキョ」という鳴き方をしているわけではあり  
あき ふゆ ちやっちやっ ささなよ な かた きおん じようし  
ません。秋から冬にかけては「チャッチャツ」という笛鳴きと呼ばれる鳴き方をしています。気温が上昇し、  
あたは ほーほけきよ な はじ はる おとず つ せじ じようず  
暖かくなってくると「ホーホケキョ」と鳴き始め、春の訪れを告げてくれます。たまにお世辞にも上手だと  
い な かた みみ がんぼ れんしゅう すこ よだん  
は言えない鳴き方をしているのを耳にしますが、頑張って練習しているんだなと少しほっこりします。余談で  
じつ うぐいすいろ よ あか いろ めじろ いろ ちか うぐいす ちゃっしやく じみ いろ  
すが実は「鶯色」と呼ばれる明るい色はメジロの色に近く、鶯はもっと茶褐色の地味な色をしています。

つぎ はるつけぐさ はる かん はな さくら つばき な はな おも う じつ はるつけぐさ  
次に春告草です。春を感じさせる花としては桜や椿、また菜の花などが思い浮かびますが、実は春告草と  
うめ いみよう にほんじん ふか さくら さ お うめ うめ はる はな さ おお  
は梅の異名です。日本人にはなじみの深い桜を差し置いてなぜ梅なのかというと、梅は春に花を咲かせる多く  
しよぶつ さきがけ はな さ はるつけぐさ よ うめ じようじつ うぐす かんれんづ  
の植物に先駆けて花を咲かせるので春告草と呼ばれているようです。また梅は上述にあった鶯と関連付けら  
はなふだ なか うめ うぐいす いっしょ か うめ うぐいす ふだ か  
れており、花札の中に梅と鶯と一緒に描かれた「梅に鶯」という札があります。ちなみに札に描かれてい  
とり うぐいす めじろ うぐいすいろ い あざ いろ れんそう おな とうじ ひとひと かんちが  
る鳥は鶯ではなくメジロです。鶯色と言われると鮮やかな色を連想するのと同じで、当時の人々も勘違い  
してしまったのかもしれませんが。

さいご はるつけうお いっぽんてき に しん はるつけうお い じつ しゆるい さかな き  
最後は春告魚です。一般的にはニシンのことを春告魚と言いますが、実は1種類の魚のことを指すわけ  
はありません。瀬戸内ではイカナゴ、東北地方ではサクラマス、他にも鱈やカツオなども春告魚と言われて  
えひめ しろうお はるつけうお よ うわじましつしまちよう いわまつがわ しろうお りよう  
います。愛媛ではシロウオが春告魚と呼ばれることがあります。宇和島市津島町の岩松川でのシロウオ漁が  
ゆうめい じもと しろうお しろうお よ  
有名ですよね。地元ではシロウオのことをシラウオと呼んでいます。

またしても余談ですがシロウオとシラウオは別の魚だと知っていましたか？シロウオはハゼ科の魚で、成魚  
たいちよう せんちていど からだ どうめい たいない す み いっぽう しろうお しろうお か ぞく  
でも体長は4センチ程度です。体が透明で体内が透けて見えます。一方のシラウオはシラウオ科に属し、10  
せんちていど おも ひがしにほん みずあ からだ ま しろ ほんとうめい  
センチ程度になります。主に東日本で水揚げされていて、体は真っ白な半透明です。

このようにいろいろと春の訪れを感じさせるものが沢山あります。気温の面でも過ごしやすくなるこの  
きせつ いた ところ ごかん つか はる かん たの おも かふんしやう わたし め  
季節。至る所で五感を使って春を感じるのを楽しむのもいいものだと思います。しかし、花粉症の私は目が  
かゆ かな むすむす はじ はる き かん ゆううつ きぶん はや かふんしやう きせつ  
痒くなったり鼻がムズムズしたりし始めると春が来たなと感じ、憂鬱な気分になります。早く花粉症の季節が  
す ほ ねが きやう ころ わらい じようし はる けはい かん ゆき と すこ かな  
過ぎて欲しいと願う今日この頃です(笑)ちなみに上司Tは春の気配を感じると、雪が溶けちゃうと少し悲し  
きぶん  
い気分になるそうです、何故でしょうね・・・？



ぶんせき わかまつ たくや  
文責：若松 卓也



# 鬼は外〜！！



2月3日節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追出す日ですが、すぎな園では今回は音楽活動の時間に昨年に続き、豆まきをしました！今年の鬼は年男さんと年女さんになる鬼年の利用者の方2名に代表で鬼をして頂きました。🍡 去年の鬼と比べて今年の鬼は心優しい鬼というのが利用者さんにも分かっているのか、鬼に豆を投げず口の中に入れようとする利用者さん・力強く投げれず床に投げる利用者さん・好きな職員に向けて投げる利用者さん等々、いろんな投げ方を見られてワイワイと楽しい時間でした(^\_^)

去年はかなり力強く豆を鬼(職員)に投げてくださいました記憶がありますが、今年は少し違って鬼の優しい姿を見て、利用者さんの思いも通じたのか、鬼に利用者さんの元気な声で「鬼は外、福はうち」の掛け声とドンドンと追ってくる豆の勢いで外へと「助けて〜！」と言いながら逃げていきました。🍡 そのあとは手作りお面をそれぞれ付けて、参加者全員で記念写真を撮りました。📷 ✨

皆さんの鬼を追い出すパワーが今年もすぎな園で悪いもの(鬼?)を追い払い、良いもの(福?)を呼び込んだと感じた節分豆まきでした。  
文責：岡本 久美子



# 楽しくキレイに！



2月9日の奉仕活動は、いつものウォーキングコースが工事中で通れない為、いつもとは違うコースをゴミを拾いながら歩いていきました。歩道を通るとはいえ車などには気をつけつつ、ゴミを見つけるときちゃんと分別しながらゴミ袋に入れていきます。コースが違う為かいつもよりもゴミの量も少なく、天気の良いなかウォーキングを楽しんでいる利用者さんもいました。途中、北吉田公園で休憩をしたのですが、遊具があるとついつい遊んでしまいますよね♪ブランコや砂場で遊んだり、スペースも広いのでおもしろいおもしろい走り回ったりしてリフレッシュしています！いいことをすると気持ちがいいですし、楽しめた奉仕活動となりました♪

## だいじ 大事なお知らせです。

これまで、すぎな園では祝日の昼食を「D1フード」さんをお願いしていました。この度、D1さんが2月いっぱいでお店をたたむとの事で、3月からは祝日の食事をどうするか考えなくてはいけなくなりました。D1さんのこれまでの功績に感謝すると共に、3月21日(火)の春分の日には何を食べてもらうか、今から検討していきますね~☆何がで出るのか、乞うご期待！



## 3月の行事



16日(金)	そうごうぼうさいくれん 総合防災訓練
21日(火)	しゅんぶん ひ 春分の日



文責：宮岡 美涼